

やすらぎ

2019.6

june

Vol.79



「はしかみハマの駅 あるでい〜ば」

どこまでも続く青い海の、三陸復興国立公園・階上海岸。釣りが楽しめることで知られる大蛇漁港の近くに、昨年オープンしたのが「はしかみハマの駅あるでい〜ば」だ。

東日本大震災後、元氣を取り戻そうと、町は浜の活性化のため水産庁補助事業を活用し、施設整備を行った。現在、町・漁協などで構成する「一般財団法人はしかみふるさとラボ」が運営。浜の賑わい拠点として、地元で獲れた新鮮な魚介類を販売し、旬の食材を利用した料理を提供している。

扉を開けると、活魚が泳ぐ水槽の回りには、ウニ、アブラメ、ホヤなど旬の魚介がいっぱい。地元の漁師さんたちが自ら獲った新鮮な魚介類に自分で値段をつけているから、海産物直売所はとってもリーズナブル。漁業者の所得アップにも繋がっているという。

レストランでは、目の前に広がる太平洋を眺めながら、海の幸たっぷりの「海鮮丼」や「ハマラーメン」を！階上漁協女性部が手掛ける「あつぱあかつちやあ、ズ」では「ソフトリームわかめ塩」が味わえる。「まずは、階上の魚を食べに来て〜！」と話すお母さんたちの笑顔が、いきいきと輝いていた。

伝統ある「大鰐温泉もやし」の通年栽培に挑む！

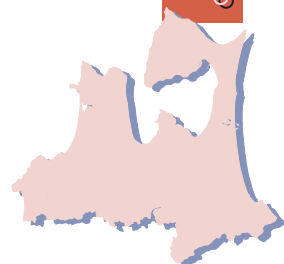
八木橋 順さん（44歳）

スキーと温泉の町・大鰐で、約400年前から一子相伝で受け継が

栽培に挑んでいるのが、八木橋順さんだ。

軽の伝統野菜「大鰐温泉もやし」。最盛期の大正時代には約40軒あつた生産農家も、平成15年には4軒まで減少。そこで大鰐町は平成16年、伝統を絶やしてはならないと後継者を公募。現在6軒の生産者が「大鰐温泉もやし」作りに取り組んでいる。

そんな中、冬場がメインのもやし栽培を、生産が難しいとされる夏場も取り組み、「大鰐温泉もやし」の通年



もやしハウスで栽培を行っている。

初めて取り組み農業。「今でも不安は尽きませんが、あの頃は勢いだけで飛び込みました。まわりのみんなに支え

られ、もう引き下がれないところまできているんです」と笑う。

栽培は一般的なもやしの水耕なのに対し、「大鰐温泉もやし」は温泉熱と温泉水を利用した土耕栽培。深さ約40センチメートルから50センチメートル土を掘った「さわ」と呼ぶ土室に豆をまき、土でおおってワラで光を遮ること1週間。見た目にもインパクトのある、長さ30センチメートル以上の「大鰐温泉もやし」が誕生する。収穫して土を洗い落とす作業も、すべて温泉水を使う。栽培に使われる

豆は、大鰐町で江戸時代から受け継がれて来た在来種「小八豆」。生産者自らが栽培し続けてきたというから凄い。

「失敗談はたくさんありますよ。『大鰐温泉もやし』は11月から5月までの冬野菜。もやしのもととなる豆を5月末に植えて10月末に収穫し、新鮮な豆でもやしを作るんです。需要が伸びて通年栽培に取り組んだのですが、夏場は土の中の微生物のバランスが崩れて病気になる。始めた頃は、土の中の悪玉菌が増える悪循環にハマり、もやしハウス一棟全部を諦めた年もありました」と明かす。つまりそれは、収入がまったくなくなってしまうことを意味していた。

「とにかく土の管理と『さわ』の温度管理に気を配りました。いい状態のものを、いいタイミングで出荷できるように細心の注意を払っています」と、こだわりを話す。

「はじめは新しく仲間を増やしたくても、胸を張って一緒に頑張ろうとは言えなかった。でも今は、試行錯誤を繰り返して、夏場もいいペースで生産できるようになって、専業で一緒にやろうと言えるようになった。

もやし作りは生産者の裁量で多く作ったり減らしたり、いろいろできるところがおもしろい。このもやしは、大鰐の人が誇れる地元の土産品。挑戦してよかった」と打ち明ける。

昨年の12月からは、八木橋さんが「仲間」と呼ぶ弟子もできた。「師匠よりもいいものを作る気持ちで臨めば、生産者全体のレベルもアップする。もやし作りは、常に勉強なんです」と真剣だ。

通年栽培の課題は「みんなでもやし作りをフォローし合い、次の世代にしっかりと繋ぐこと。一軒で一週間に作れる量は決まっています。でも作る人が疲れ果てて嫌になったり、病気になるたら作り続けられなくなってしまう。お正月も休めて、旅行にも行ける、そんな体制を作りたい。そして大鰐にしかない伝統野菜『大鰐温泉もやし』は、ふるさと大鰐を他県の人に知ってもらうきっかけにもなる。次の世代にしっかりとバトンを渡せるよう互いに切磋琢磨していいものを作り、生産者の生活環境も整えながら前に進んでいきたい」。心に秘めた情熱を、気負わず静かに語ってくれた。

弘前市出身

津軽ひろさき応援隊事務局長

野村 洋子 さん



[第36回]

●津軽を巡るツアーを企画
魅力リアルに伝えたい

野村さんの人脈は半端ない。県内はもちろん、歌舞伎や能を通じて知り合った仲間や芸能界にまで及ぶ。幅広いテーマについてめりはりのある口調で語る野村さんの話術に、誰もが引き込まれてしまう。

「うやむやにするのは嫌なの。イエス、ノーをはっきりしないと外国では命も落としかねない。友人からは春日の局って呼ばれています。」とお茶目な表情を見せる。ロンドンやニューヨークで暮らした経験から滲み出る言葉だろう。

「英国で暮らしていた時、日本文化について語ることでできない自分に愕然としました。欧州人にとって日本は神秘的でベールに包まれた幻の国。それは能や歌舞伎など伝統芸能があるからだと気づきました。」

外から見て初めて気づく自国の文化と魅力。それは18歳で津軽を離れた野村さんにとって、故郷を改めて見直すことにも通じた。

「この年齢になって、自分の原風景は弘前公園だったなと感じます。私の感性は弘前公園が育んでくれたのだと思います。」

幼少の頃を弘前公園内で暮らした野村さんには、たくさん思い出がある。冬には手作りの竹スキーでお城の土手から濠に滑り降り、春になると部屋の中に舞い落ちる桜の花びらを繋いで首飾りや腕輪をこしらえた。野村さんの日々は弘前公園の四季と重なる。

いつか故郷にお返ししたいと思い続け、2011年に「津軽ひろさき応援

隊」を立ち上げて事務局長となった。

津軽を外から応援し、青森県の魅力をとくさんの人に知ってもらいたいという思いからだ。これまで弘前ねぶたまつりや青森ねぶた祭を体験するツアーを企画してきたが、今年の春は初めて「津軽の桜を楽しむツアー」を開催した。

青森の桜を観るのは初めてというメンバー約30人。出身地も職業も年齢もバラバラ、唯一の共通項は野村さんの知り合いという点だ。桜の開花とツアーの時期が合うのかドキドキの開催だったが、一行を迎えたのは満開の桜だった。

平川市の盛美園、猿賀神社、弘前市の最勝院五重塔、岩木山神社、高照神社、弘前藩歴史館、鯉ヶ沢町の海の駅わんど、津軽五所川原から芦野公園まで津軽鉄道に乗り、五所川原市にある太宰治の生家斜陽館を見学し、鶴の舞橋を渡るという津軽満喫のコース。弘前公園は4時間かけて丁寧な散策し、満開の桜をことごと堪能した。

「モリモリと盛り上がるように咲く桜は初めて！」「夜桜の幻想的なこと！東京の桜とエネルギーが違う」という参加者の声を野村さんは感慨深く聞いた。

「私は子どもの頃に大病をし、20歳代で死ぬと医者から宣告されました。今も治療が続いていますが、ここまでよく生き残ったと思います」とほえむ。

「青森県は遠い存在だったけれど、想像以上の魅力に溢れた場所でした。友人を連れて再訪したい」という参加者の声に笑顔を向ける野村さん。バスの中では自らマイクを握り、細やかな説明や地元ならではの情報を披露した。

東京では教育心理学者（カウンセラー）として活躍し、歌舞伎や能にも造詣が深い野村さん。観世鍔之丞氏一門を弘前市に招き、市民に向けて薪能を披露したこともある。

「満開の桜を目にすると、津軽はいいなと思う。ずっと津軽を応援していきたいですね」と満開の桜にやさしい眼差しを向けた。

ホッとタイム

神社、仏閣を

参拝するのが好きだ。2年8カ月をかけて鎌倉三十三観音を巡り、この4月に結願した。

青森に来れば欠かさずお参りするのが岩木山神社だ。今年は既に4回お参りしたが、今回は初めての経験をした。

参道を登っていくと、湧き水が溢れるご神水近くの道を二匹の蛇がゆっくりと横切り、石垣を登っていくのに出会った。冬眠から目覚めたばかりなのか、ゆっくりとした動きでスローモーションがかかったような情景。眼を凝らし蛇の行方を見守ること40分。蛇は石垣の溝や苔を探し、試行錯誤しながら登っていく。

たどり着いた先に、待っていたのはなんと小柄な白い蛇。しばらく見つめ合い、2匹は頭を近づけてキス？

岩木山神社で蛇に出会った縁起がよいと言われている。蛇の結婚式に参列するなんて、なんといいラッキー。思わず手を合わせた。





大鰐温泉つつじまつり



石の塔



阿闍羅山で開かれる「前平アタック」



地域交流センター鰐 come



鰐 come 大浴場

「あじやらで遊ぶ」

代表 高橋 浩二さん



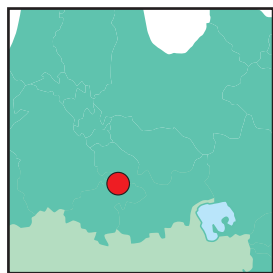
大鰐町から十和田湖に向かう途中の山道にある、一軒宿の温泉旅館です。昔懐かしい家庭料理とアットホームなおもてなしを心がけています。オーナー兄弟はもちろん、私もかつてはバイクに乗っていたこともありライダーに人気の宿です。リピーターも多く、一人旅でも、我が家に戻ったように寛げますよ。アルカリ性の温泉だから、肌もつるつるになるんです。大鰐町は、温泉も食も街並もレトロな素敵な街。地元の人たちとのふれあいを、ぜひ楽しんでくださいね！

霊湯正観湯温泉旅館

若女将 横山 紀子さん



街角インタビュー



[大鰐町]

市町村めぐり

江戸時代から津軽藩の湯治場として栄えた大鰐町は、総面積約163平方キロメートル、人口約9500人。スキーと大鰐温泉もやして知られる、歴史ある町だ。

「茶臼山公園」に登り、町内と岩木山を眺める。

ここは大鰐町・関温泉郷県立自然公園。

毎年5月下旬には、約40種類・15000本ものつつじが咲き誇り「大鰐温泉つつじまつり」が開催される。

大鰐温泉スキー場がある阿闍羅山は、夏でも楽しめるスポット。

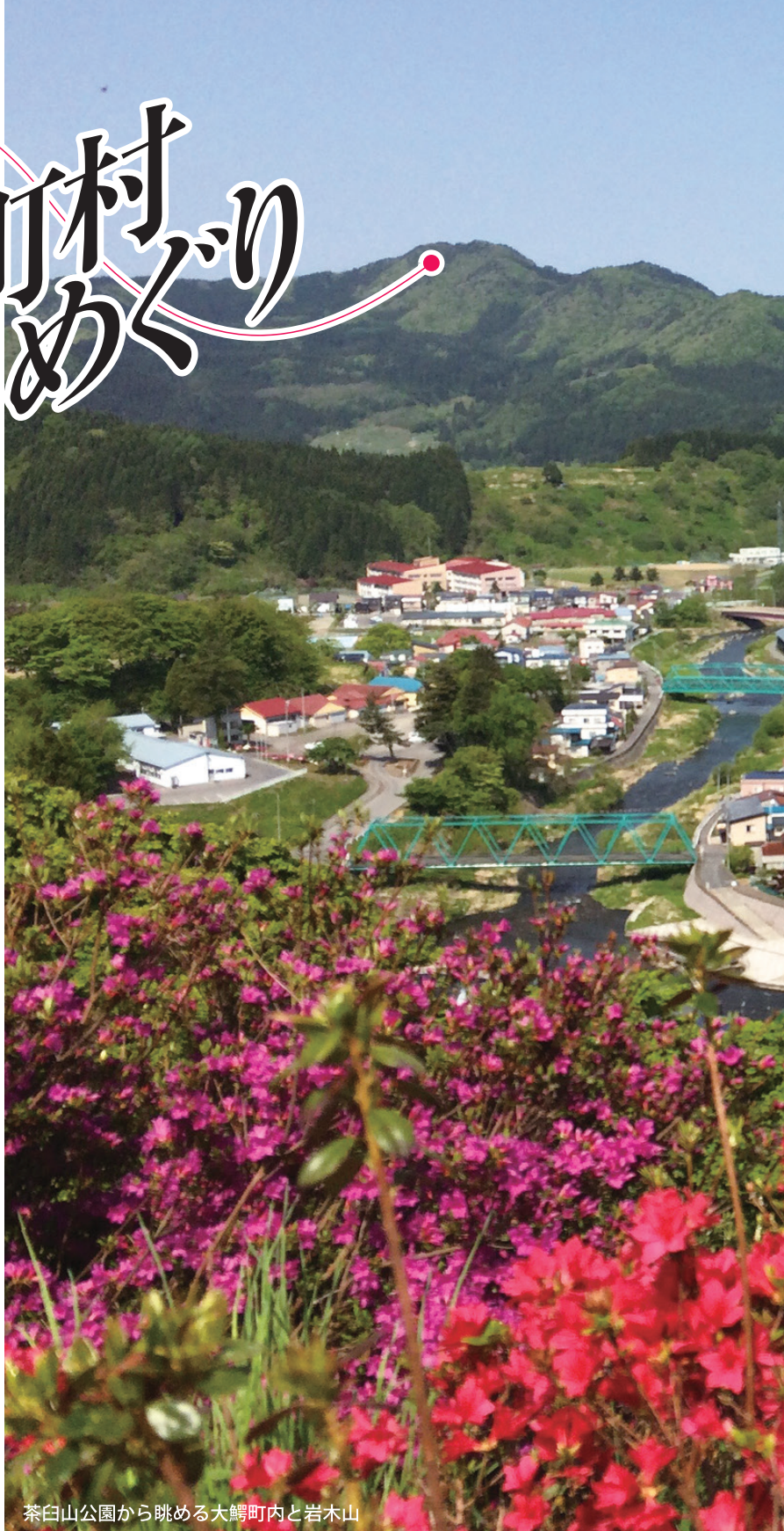
ハイキングのほか、秋には「前平アタック」が行われ、スキー場の斜面を利用した、バーティカル競技で賑わう。

そしてユニークなのが、早瀬野地区・秋田県境国有林保護林内にある「石の塔」。

高さ24メートル、周囲74メートルの天然巨石には「石の塔見なつち でつけごと しゃべらいねぞ」ということわざが言い伝えられており、それをもとに毎年6月上旬に「万国ホラ吹き大会」が開かれる。

地域交流センター鰐comeは、日帰り温泉が楽しめるほか、郷土の土産や、特産品を使った料理が味わえる町のランドマーク。

初夏の風を浴びながら、大鰐町をゆっくり散策したら、自慢の温泉で、のんびり、くつろいでみたい。



茶臼山公園から眺める大鰐町内と岩木山

大鰐町をもっともっと元気にしたい！と思った仲間がフェイスブックを通じて集まり、6年前に完全ボランティアの「あじやらで遊ぶ」を結成しました。

まずは阿闍羅山登山道の草刈りからはじめ、今ではスキーシーズン以外も阿闍羅山を楽しんでもらおうと、スキー場の斜面を利用した山中を駆け巡る競技・バーティカル大会「前平アタック」を毎年10月の第3日曜日に開催しています。山を一気に駆け上がるショートタイプの大会です。山好きの方は、ぜひ参加してみませんか。

朝日屋日景食堂

佐々木仁志さん 優美子さん

ご夫妻



津軽百年食堂の一つで大円寺の向かい側にあります。創業は明治30年。私は四代目にあたります。一番人気は、塩味の「大鰐温泉もやしラーメン」。細ちぢれ麺に、煮干と昆布と鰹、サバ節でとった出汁で、もやしの味を引き出します。

昔ながらの銀皿に盛った「オムライス」や、地元大鰐のマルシチ醤油で味付けしたつゆが決め手の「津軽そば」もぜひ味わってみて！ けやきの一枚板で造られたテーブルやひばの椅子は60年以上前から使われています。大鰐はいい町です！ぜひおいでください。

はしかみいちご煮祭り

県南地方の郷土料理「いちご煮」をメインにしたイベントです。毎年7月下旬の2日間行われ、会場となる小舟渡海岸^{にじゅういちたい}(廿一平)ではいちご煮が特別価格で振舞われます。ほかに、ステージショー、花火大会、釣り大会など多彩なアトラクションを開催。会場の出店では、ウニやアワビなど新鮮な海の幸が味わえます。



元祖いちご煮



はしかみいちご煮祭り

階上灯台

「三陸復興国立公園」の一角をなす、階上灯台のある小舟渡海岸は、芝生地帯、岩礁地帯と変化に富んだ海岸線が魅力です。ここは県内最東南端。県内で一番早く朝日が昇る光なす場所です。お正月には、初日の出を見ようと多くの人が訪れます。水平線から昇る朝日は絶景です。



階上灯台

階上早生階上そば

階上早生階上そばは、階上在来系統から選抜されたそばの品種で、青森県唯一の奨励品種に採用されました。地元栽培、石臼製粉、手打ち生そばにこだわり、粘りが強く風味豊かなそばとして人気です。階上町わっせ交流センターでは、そば打ち体験を楽しむことができます。



階上早生階上そば



そば打ち体験

おらほの一番

寺下観音

階上岳の北東山麓にある寺下観音は、奥州南部糠部三十三ヶ所巡礼一番札所です。観音堂の中には、千数百年前に^{びょうき}行基という高僧が伝えたという観音像が安置されています。境内には西国三十三ヶ所巡礼の観音様が祭られており、ここでお参りすればそのご利益も受けられると伝えられています。観音堂のほかに潮山神社もあり、神仏混交の霊地として古くから信仰されてきました。毎年5月第3土日に行われる例祭には、県内外から大勢の人が訪れます。



寺下観音



巨木の郷はしかみ

階上町には、古くから家や土地の守り神として崇められてきた巨木があり、木々を大切に思う心が育まれ「巨木の郷」という文化が根づいています。銀杏木窪の大銀杏、茨島のトチノキ、日吉神社のハリギリなど、その数は24本。10本を巡る「巨木ツアー」も行われています（要予約）。花の咲く頃、実を結ぶ季節、落葉した枝ぶりなどさまざまな姿をみせてくれる巨木や古木。幾世代にもわたる人の世を見送りながら、何百年も生き続けてきた歴史に思いを馳せてみませんか。



日吉神社のハリギリ



青森県指定天然記念物 茨島のトチノキ

階上岳（臥牛山）大開平の天然の山つつじ

階上海岸とともに「三陸復興国立公園」に指定された階上岳。標高739.6メートルの山の8合目、大開平には約2万本の天然の山つつじが群生し、満開となる6月上旬には多くの登山ファンが訪れ「はしかみ臥牛山まつり」も開催されます。



山つつじの群生

イベントを紹介します。

今回は階上町のとっておきスポットや

大自然を満喫できるステキなところ。

階上町は、海があつて、山もあり、

青森県内で最も早く朝日が昇る

青森県の最東南端、

初夏の行楽シーズン、
階上町に出掛けてみよう！

歯みがきのときに出血したり、激痛が走ったり、歯肉が赤く腫れ、口臭がみられる状態を歯肉炎といいます。

これは、歯周病になる手前の症状のことで、歯茎に炎症が起きているのです。慢性になると、歯肉は赤紫色になって腫れることもあります。

初期には痛みがほとんどないため、気づかないこともあります。しかし、治療せずに放っておくと、より重い歯ぐきの病気で歯を失ってしまう場合もあります。

一般的な歯肉炎は、歯みがきを2日から4日以上行わないことが原因で発症し

ます。歯周ポケットにプラーク（歯垢）が溜まり、プラークに潜む歯周病菌によって、歯茎に炎症が起きます。

また、強すぎる歯ブラシの刺激で起こる外傷性歯肉炎、ホルモンの変動による思春期性歯肉炎、糖尿病があると歯肉炎が起こりやすくなるともいわれています。

急性壊死性潰瘍性歯肉炎は、強い口臭と痛みがあり、歯肉が赤く腫れ、2日程で歯肉の縁が壊死し潰瘍ができません。食べ物や歯ブラシで出血

し、重症になると頭痛や発熱もみられるようです。原因ははっきりしていませんが、精神的ストレスや免疫の低下による細菌の増加と推測されています。

治療方法は、軽い場合、歯みがきと洗口剤でうがいをし、口の中を清潔に保てば自然に治ります。炎症が強い場合は、歯科医院で抗菌薬や鎮痛薬をもらいましょう。

大切なのは、正しい歯みがきをして、再発させないことです。



健康法

プラークコントロール

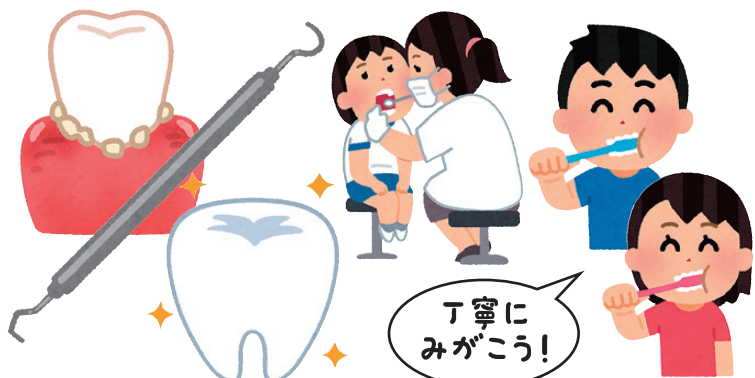
デンタルプラーク（歯垢）は、お口の中の常在菌のかたまりのことです。歯垢は、歯ブラシなどで除去するまで、毎日増え続けていきます。

この歯垢が、唾液の中のカルシウムによって固まったものを歯石といい、ブラッシングで取り除くことはできません。きなくなってしまう。

大切な歯を守るためには、毎日のプラークコントロールで歯垢を除去していくことが重要です。

寝ている間は唾液の分泌が減り細菌が増殖しやすいので、寝る前の歯みがきは丁寧に行いましょう。

歯科医から指導を受けて磨き方のクセを直したり、デンタルフロスなども使うこともおすすめです。



あいちゃんの読んで得だね!

今回「やすらぎ」の取材で訪れた階上町と大鰐町の、とっておき情報を紹介します!!

「みちのく潮風トレイル」を散策してみませんか

《階上町》

「みちのく潮風トレイル」は、環境省が進めているグリーン復興プロジェクトのひとつ。青森県八戸市から福島県相馬市まで4県28町村をつないだ全長約1000キロメートルを超える長距離自然歩道です。



その内、約33キロメートルが階上町内を歩くルート。階上海岸から階上岳に向かって海岸に戻る道のりは、山と海の両方の自然を満喫できるコースとなっています。

そして階上町では「はしかみおもてなしエンジェル」たちが、安心して歩いてもらえるよう、旅の途中の思い出づくりをお手伝い。例えば、沿線のお店などでトイレを借りたり、休憩場所を提供したり。階上岳や階上海岸のガイド、陶芸や農家民泊など、地域との出会いが楽しめる自慢のルートと

なっています。

みなさんも、歩くスピードで階上町を散策し、のんびり旅をすることで、普段は見えない風景や、歴史、食文化など体験してみたいはいかが!?



■お問い合わせ / 階上町役場産業振興課商工観光グループ
TEL.0178-88-2875

パラグライダーフライトを体験してみよう!

《大鰐町》

みなさんは「空を飛んでみたい」と夢見たことはありませんか? 何と大鰐町で、その体験ができるんです!

阿闍羅山にある大鰐温泉スキー場は、パラグライダーにとって津軽平野の穏やかな風が吹き込む最適なスポット。県内で最も多くのフライヤーの集まる場所なんですよ。

開設から22年もの実績を誇る「チャレンジフィールドパラグライダースクール」のメンバーが、親切丁寧に指導してくれます。



インストラクターと二人乗りで体験する「パラグライダータンデム体験コース」は、岩木山や津軽平野の素晴らしい景色を眺めながら、ゆったりと空中散歩が楽しめます。

ほかにもライセンスを取得するコースやシニアコースなどいろいろ。日常から離れた三次元の世界を、ぜひ一度、体感してみませんか!



■お問い合わせ / チャレンジフィールド パラグライダースクール(大鰐町)
校長 三上 祐司 TEL.090-3644-3777

♥階上町わっせ交流センターは、歴史ある小学校を活かした「階上早生階上そば」の振興拠点施設。ここで販売されていたのは、爽やかな酸味とほどよい甘みが絶妙な「山ぶどうジュース」、香り豊かな自然そのままの味の「よもぎ餅」、「早生のめぐみ」そば焼酎でした。



♥フォレストピア階上に出掛けたら味わってみたいのは「ジェラート」。季節のフルーツなどを使ったあっさりとしたジェラートです。

《大鰐町》

♥ほっこりできる、昔ながらの温泉があって、スキーやアウトドアスポーツも楽しめる大鰐町。まずは日帰り温泉と、地元ならではの料理、お土産がGETできる大鰐町地域交流センター鰐 come (ワニカム)へ。ここは、開湯800年の歴史を持つ大鰐温泉を気軽に楽しめる場所。木と石をふんだんに使った大浴場に、露天風呂、家族風呂（露天風呂付）もあるんです。東北初という、アルパインサウナ（低温サウナ）は、サウナが苦手な人も楽しめるそうです。

♥昼食は、鰐 come 内にあるお食事処「花りんご」へ。大鰐に来たら「大鰐温泉もやし」をいただきなくっちゃ!と「大鰐温泉もやしラーメン」の味噌味にTRY。もやしと味噌がベストマッチです。



「大鰐温泉もやしうまか丼」は、大鰐温泉もやしとシャモロックのピリ辛そばろが絶妙。「大鰐温泉もやしそば」は、地元大鰐町のマルシチ醤油で作ったスープが美味。「大鰐温泉もやしやきそば」はさっぱりとした和風味でした。



そしてユニークなのが「大鰐温泉もやししゃぶしゃぶ鍋セット」。大鰐温泉もやしをしゃぶしゃぶで味わえるんですよ。



♥食後のデザートは「プレミアムスイーツ わ」をいただきました。大鰐名物の駄菓子「マカロニドン」のポン菓子と、地元の醤油を使った黒蜜ジュレソースがクセになる美味しさなんです。



♥お土産はやっぱり「大鰐温泉もやし」でしょ! 伝承400年。温泉熱と温泉水だけを用い、土耕栽培にこだわった幻の伝統野菜なんです。「大鰐温泉もやし御ひたし」は、りんご酢と出汁醤油で調理したおひたし。そのまま食べられるところが、いいですね。



♥「あじやら餅」はしっかりとした歯ごたえの餅に、くるみ入り。「茶臼餅」は、しっとり柔らかいきなこ餅に虎豆が入っています。「串だんご」も美味しい〜。



♥マカロニとお米の「ポン菓子」は、食べ始めたら止まらなくなっちゃいました。



♥「マルシチ ゆのまち津軽味噌」は、日本で唯一の温泉醸造。津軽産大豆と国産米にこだわった、町自慢の味噌だそうです。昔ながらの「マルシチ醤油」は、地元の人に愛されている逸品です。



♥ほかにも「シャモロックスープ」は鍋物や煮物のほか、和・洋・中のお料理に使える、青森シャモロックの万能スープ。「津軽路ビール」は、霊峰・阿闍羅山系銘水仕込みのクラフトビールで、芳醇な味わいが魅力です。

あいちゃんのほのぼのコーナー

ドラマのお知らせの巻

♡取材こぼれ話



《階上町》

♡みなさんは青森県内で最初に朝日が昇る、階上町を訪ねたことがありますか？私たちは、階上町に昨年オープンしたという海沿いの「はしかみ ハマの駅 あるでい〜ば」に行ってきました。店内には鮮魚がいっぱい！そして驚くほど安い!!

♡レストランに入ると、カウンターの向こうは海〜。とっても眺めがいいんです。この日いただいたのは、魚介がたっぷりの「海鮮丼」、イカが一杯まるごと入った「ハマラーメン」。



階上町といえば〜、ウニとアワビが入った「いちご煮丼」。「いちご煮パスタ」は初めての美味しさでした。



町の魚アブラメの漬け丼+海藻ラーメンの「階上セット」はリーズナブル〜。



♡デザートは「ソフトクリーム わかめ塩味」。自分で好きな分だけ、わかめ塩を振りかけられるのがいいですね。お土産には「ふのりドーナツ」「海藻ラーメン」、階上町のかっちゃんが加工したフノリ等の海藻がおすすめとのこと。漁協女性部による「日替り弁当」はとってもお得な値段でびっくりでした。



♡道の駅はしかみでは、ウニとアワビのお吸い物「いちご煮」の缶詰、「階上早生階上そば」の生麺と乾麺、「かりんとう」を購入。「いちご煮」の缶詰は炊き込みごはんやパスタソースにも使えるそうですよ。



くみあい 情報板

平成31年度一般会計予算

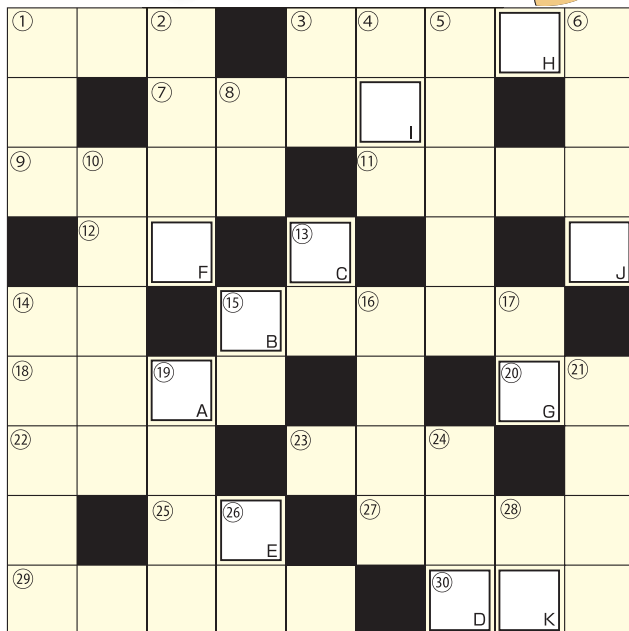
歳入 (千円)	負担金	9,549,528
	財産収入	36,725
	繰越金	1,000
	諸収入外	1,725
	計	9,588,978

歳出 (千円)	議会費	679
	総務費	73,747
	給付費	9,436,583
	予備費外	77,969
	計	9,588,978

組合ホームページをご利用ください <http://aomori-taite.jp>

(主な内容/お知らせ・概要・例規集・様式・事務の手引・試算・構成団体決算状況・組合回報誌「やすらぎ」・リンク集)

あいちんの クロスワードパズル



□の中の文字をABCの順に並べると、ある言葉ができます。

(ヒントは「やすらぎ」の中にあります。)

はがきにクロスワードの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、所属市町村名、「やすらぎ」へのご意見、ご感想、メッセージを添えて、青森市堤町2丁目1—1 青森県市町村職員退職手当組合「やすらぎ」編集室までお送り下さい。正解者10名様に抽選で素敵なプレゼントを差し上げます。

締切/2019年7月末日消印有効

〈タテのカギ〉

1.階上町で毎年7月に行われる「○○○煮祭り」 2.『金蚕』（昆虫） 3.岩木山山麓の名物「○○きみ」 4.『蝶嬢』と書く爬虫類 5.別名「ナメタケ」「ユキノシタ」ともよばれているキノコ 6.野辺地の公園にある神秘的な光を放つ「○○○○灯」 8.アフリカ西部にある小さな共和国、首都はバマコ 10.『蠡斯』と書く昆虫 13.海の一部が陸に入り込んだ領域、「陸奥○○」 14.『桜桃』、代表的なものは「佐藤錦」「ナポレオン」 15.「山稜」「稜線」のこと 16.『葎草』、主に薬用として用いられている植物 17.「○○神宮」「○○海老」 19.北海道南西部、日本海上に浮かぶ島「○○○○島」 21.スペシャルトレーニング? 24.読んで字の如く、車や船に積んで運ぶ荷物のこと 26.仏教でいう「四つの○○」とは、「父母の○○、社会の○○、国家の○○、私の○○」 28.仏像などを安置する仏具、法隆寺の「玉虫○○」は特に有名

〈ヨコのカギ〉

1.『海豚』 3.大鰐町の大日様として知られる名所(お寺) 7.『樹懶』（動物）、 9.『蜚蠊』（家の中の害虫） 11.「○○○○鼠」（「ねずみ」でなく「ねず」と読む、緑っぽい灰色、茶人、千利休が好んで使ったといわれる色） 12.元素記号「P」 14.「オレオレ○○」には十分気を付けよう 15.野外や室内の気温を計る 18.流氷の天使 20.「○○の花嫁」（歌謡曲） 22.ビスケットの一種（お菓子） 23.屋根にとりつけられている小柱、防火壁、「○○○が上がらない」 25.「敵に○○を送る」 27.「木菟」（鳥） 29.専用の掘削機で穴を掘り、地層や地盤を調べる「○○○○○調査」 30.「春告魚」

前回パズルの当選者

厳正な抽選の結果、次の10名様が当選しました。おめでとうございます。
(応募数118名)

〈前回パズルの解答〉

ほたていちばん

〈所属市町村名・氏名〉

五所川原市	今智祐	五戸町	類家	和哉
十和田市	太田美奈	一部事務組合下北医療センター	佐々木	沙織
平川市	工藤菜菜子	下北地域広域行政事務組合	田中	純也
田舎館村	金枝尚明	つがる西北五広域連合	高松	都子
三戸町	井畑充博	つがる西北五広域連合	小倉	浩久